

第14回 「非行」を考える 全国交流集会

◆ひとりで悩まないで◆

今、わが子の事で悩んでいるお母さん、お父さん、そして、学校の教師、施設職員、司法関係者、地域ボランティア、カウンセラーの方など、子どもの「非行」の問題に関心のあるすべてのみなさんの参加をお待ちします。子どもたちと真に向き合い、その立ち直りを支えるために、ぜひいっしょに学び合い、交流しましょう。

2014年

3月21日(金)・22日(土)

千葉県柏市 さわやかちば県民プラザ

全体集会(21・金 13:00~15:30)

*講演
「少年のパートナーとしての支援」
多田 元さん(弁護士、元裁判官)

*体験
野田 詠氏さん(牧師・少年院体験者)

Aさん(わが子の非行を体験した親)

*あめあがり合唱団

テーマ別分科会

- ① 子どもの事件
一補導・逮捕・収容・審判
- ② 鑑別所・少年院・児童自立支援施設・
児童相談所
- ③ 保護観察と子どもの生活
- ④ 暴力団と子どもたち
- ⑤ 青少年のさまざまな依存(ギャンブル・
摂食障害・ネット等)を考える
- ⑥ 薬物と青少年
- ⑦ 被害者・加害者の対話
- ⑧ 学校を考える
一親の思い、教師の思い
- ⑨ 発達障害の子どもへの理解と対応
- ⑩ 子どもの荒れと
親子・家族の関係
- ⑪ 若者と自立

主催 「非行」を考える全国交流集会実行委員会

事務局 169-0073 東京都新宿区百人町1-17-14 コーポババ21「非行」と向き合う全国ネット内
問い合わせ先 電話 03-5348-7265 FAX 03-5337-7912
Eメール ameagari@cocoa.ocn.ne.jp

後援 千葉県 千葉県教育委員会 柏市 柏市教育委員会 埼玉県
NPO法人非行克服支援センター 日本子どもを守る会
全国生活指導研究協議会 東京総合教育センター (他、1件申請中)

■日程■

3月21日(金)

受付開始 12:00	全体集会 13:00~15:30	「非行」を語る分散会 16:00~18:00	夕食	「非行」を語る分散会(続き) 19:00~20:30
---------------	---------------------	---------------------------	----	-------------------------------

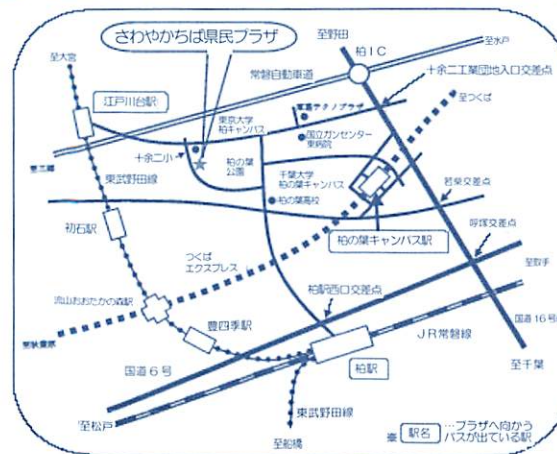
3月22日(土)

非行を語る分散会(続き) 9:30~11:30	昼食	テーマ別分科会 12:30~16:30	全体集会 16:30~17:30
----------------------------	----	------------------------	---------------------

■会場への交通案内■さわやかちば県民プラザ 〒277-0882 千葉県柏市柏の葉4-3-1

- ・電車：JR常磐線/東武野田線;「柏」駅下車 西口からバス
東武バス②番乗り場「柏の葉公園・江戸川台」「柏の葉公園経由がんセンター」行
「柏の葉公園」下車徒歩1分 ●似た名前のバス停があるので間違えなく
*東京駅から柏駅は、JR山手線で上野駅へ(4駅)、常磐線に乗換えて柏駅へ(6駅)。約40分
*羽田空港から柏駅は、モノレールで浜松町へ、JR山手線で上野駅へ、常磐線に乗換えて柏駅へ。
約70分
：つくばエクスプレス利用の場合;「柏の葉キャンパス」駅下車 西口からバス

- ・自動車：国道16号(十倉二工業団地入口交差点)から約5分〔駐車場182台〕



参加の申し込みをされた方には、後日、参加票と共に地図・バスの時刻表などをお送りします。
*なかなか届かない場合は、恐れ入りますが、ご一報ください。

21
1日目 (3/23)

▶▶全体集会

*講演 多田 元 さん(弁護士、元裁判官)

「少年のパートナーとしての支援」

1969年より裁判官して数多くの少年事件を担当された多田先生。退官後、弁護士となり400人を超える少年たちと関わってこられた。少年事件の弁護、教育裁判のほか、不登校・体罰・いじめ、子どもの虐待などを扱っている。なぜそれほどまでに少年に寄り添えるのか、子どもの現状をどう見ているのか、どのような社会が望ましいのかなど、率直なお話をうかがいます。



*体験 野田詠氏 さん(牧師・少年院体験者)



かつては暴走族のリーダーで、少年院を体験した野田さん。現在は、3児の父であり、牧師。そして今、自分と同じような迷い道にいる少年を支援するさまざまな活動を行っている。

Aさん(わが子の非行を体験した親) 親の思いを語ります。

1日目・2日目 (3/21・22)

▶▶「非行」を語る分散会 ……「非行」と向き合う

10の会場に分散して、たっぷり話し合います。

参加者全員が、様々な立場からそれぞれの体験や思いを交流し、考え合い、深め合う場です。

たっぷり聞き合い、語り合うこの分散会が好評です。

「非行」に即効薬はありません。

でも、子どもたちがおかれている環境や状況は、全国どこでも、驚くほど共通項があります。子どもたちが、いったい何を叫んでいるのか、そんなことも一緒に考えながら、それぞれの体験から学び合い、交流しましょう。

この会場には、親も、教師も、施設職員も、研究者も、司法関係者も、みんなが、「非行」の子どもと向き合う対等の立場で参加します。

話したくない人は聞くだけでも結構です。また、発言の際に名前などを言わなくても結構です。お互いのプライバシーを、尊重し合い運営します。安心して、ご参加下さい。

2日目 (3/22) ▶▶テーマ別分科会

①	子どもの事件 — 補導・逮捕・収容・審判	子どもが事件にかかわってしまった時、ただ慌ててしまうのが親や家族。子どもはどう扱われ、どのように処分が決まるのかを学びつつ、立ち直りを見据え、付添人・親・教師・周囲の人は、何をしたらいいのかを、具体例を持ち寄り、話し合います。【ゲスト】馬場 望(弁護士) 【報告】体験者
②	鑑別所・少年院・児童自立支援施設・児童相談所	鑑別所や更生施設とは、どのようなところでしょうか。少年の真の立ち直りのために、施設での教育はどのようにされているのか。その間に親がやれることは何なのか。体験を持ち寄りながら、関係者と共に考えましょう。【ゲスト】林 和治(元少年院長) 【報告】少年院体験者(本人)
③	保護観察と子どもの生活	少年の保護観察受け入れは、年約3万人。保護司のもとに通い、遵守事項を守りながら暮らす。保護観察中の生活をどう支えるのか。就職の困難さ、学校、交友関係はどうしたらいいのか? 不安や疑問も出し合って考えましょう。【ゲスト】保護観察官 【報告】体験者(本人)
④	暴力団と子どもたち	振り込め詐欺事件に関わってしまう少年たちが増えています。暴走族や、旧車会、薬物、風俗営業の背後にも、多くは暴力団が関わっています。子どもたちをどのように守れるのか、実態を学びつつ考え合ひましょう。【ゲスト】千葉俊一(全国暴力追放推進センター) 【報告】体験者(本人)
⑤	青少年のさまざまな依存(ギャンブル・摂食障害・ネット等)を考える	スロットなどのギャンブルやお酒、ネットへの依存などが、よく話題になります。また、摂食障害、性の依存、ホスト依存などの相談も増えています。依存とは何か、周囲はどうしたらいいのか、本人はどうしたらいいのか、語り合い考えましょう。【ゲスト】高澤和彦(精神保健福祉士) 【報告】体験者(本人)
⑥	薬物と青少年	大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ…話題は途切れることはありません。あまりにも簡単に薬物が手に入る今、どうしたら青少年を守るのか。また、依存からの回復の道はあるのか、一緒に学び、考えましょう。【ゲスト】志立玲子(アパリ相談員) 【報告】体験者
⑦	被害者と加害者の対話	修復的司法という考えをご存知でしょうか。厳罰主義が進む日本ですが、世界にはこうした流れが進んでいます。少年犯罪をめぐる「対話の会」を実施しているゲストと共に、その理念や実際はどのようなものかを学び合ひましょう。【ゲスト】山田由紀子(弁護士・被害者加害者対話の会)
⑧	学校を考える — 親の思い、教師の思い —	「学校」は誰もが通過する場所です。しかし競争は加速、子どもはストレスを溜め、不登校や校内暴力は減りません。親も教師も悩んでいます。さまざまな思いを率直に語り合い、共同の力を探っていきましょう。【ゲスト】能重真作(元中学教師)、白鳥 航(元中学教師) 【報告】教師・親
⑨	発達障害の子どもへの理解と対応	子どもの「荒れ」「衝動」などと、発達障害の関連が取りざたされることがあります。発達障害への知識と、子どもの生きづらさや子育ての困難について学び合い、悩みや事例、現状を出し合い、交流し理解を深めていきましょう。【ゲスト】平井 威(明星大学) 【報告】親(体験者)
⑩	子どもの荒れと、親子・家族の関係	親と子の悲しい事件が続きます。居心地良い家庭を、仲の良い家族を、と望んでいるのに、狂ってしまう歯車。子どもに問題が起きて、家族がギクシャクしてしまうこともあります。そうした問題や悩みを出し合い、交流しましょう。【ゲスト】浅川道雄(元家裁調査官) 小久保志津子(自立援助ホーム)
⑪	若者と自立	20歳を過ぎても問題を抱える子どもに悩んでいる親は少なくありません。現代社会で思うように生きられず、家族が困難に巻き込まれます。自立とは何か、親は何ができるのか、話し合いながら、課題を整理し深めていきましょう。【ゲスト】三好洋子(自立援助ホーム) 【報告】親(体験者)